子り 夕 合言 長名 人行教を問題 介之三川小 人 島 日 日子・西子大原体之 監視日地文 社会混合 有打發





でに冷え切りて、圧害は肚の膨ま 郷の手を囲まれてみた。その手は一 正言、けふから一月の間は、どのや一『お鰹粽、わたくしは怖うござ たのやうな可愛らしい勘を、着て なに、ないことがあらう。そな 的東した女子があるかや。 「たんときだけの手の可愛いきっ でも今返るやうな奇たさを翻せず とおく形はない。正直にいつて見 しれかこの世の人かと思はれるま でまことないかっほし、ししっな いはそんなことは。...... にはあられなかつた。

人无, 二百句法也以二

することも出来なかつた。

の動像が高まつたが、もはや何と

一の伤に耐いてるがいゝぞえる 間じこと。しかとついってわら

い足がゆるどうせ嘘を聞いてい

問題をつむりやといふのちゃ。

れ正古、お面には誰で他に

緒に張やいのうこ

い。よいから蓋直に、わらはと たたがどのやうに大きな聲を出さ

能にも知れることではな

される者がした。由吉ははつと関

かちゃんと高く頭の上で錠の下

はまつたく当け襲れた地の底、そ

秋近い 関外合 牧生 数五い海波 子来の高版、関合牧園、面型三十三百町歩昭和四年から全主、経路からだ つい、馬が出来る部だし とは内地からあれる場門家ため、毎日本土に現在の馬敦白八十五頃、従年三級長の頭質をしてある、今年も去る七月東京、大猷、上州方面より砂波の戦門家が戦まった。総昌五子上百回の優別たるものもあった。毎日をしてある。今年も去る七月東京、大猷、上州方面より砂波の戦門家が戦まった。総昌五子上百回の優別たるものもあった。毎日をしてある。今年も去る七月東京、大猷、上州方面より野田家の地門家たちの事しくいふところ

えいなられ。種でと確い目に並 得びぐつを引かれた手が伸びて一

でつと引いた。圧青ははつと思

次第に與べくへと引かれて行つ

られるやうな顔さを銜えたがら、

正晋は鳳睛の中を、細雄で緒

をよっている 悲望はも 村 イ 新人ける

郷は悪い掛けない

力で庇吾の手

圧音、立ちやol

棄石は立つて素連く要添の蓋に

あいっそれでは蓋を届けてた

を滑つて、やがて長標の籍へ引寄 たのやはり足は

一を突いた。 ることも出来なかつた。 遊は言う程に、何もかも安心して のか。そなたの主人には誰ぞ人を っまだそのやうなことをおいひや 甲部かうざいませぬ。 度りませねことには、御主人様 どうか、細胞媒なすつて下さい た云ひ附もきつと反くまいでる。ますの しっわたくしはける中にお見世

のか。原果高め。――お殿様、こんかつた。「態度いふても解られ 連れてお記録へお扱うなまりま 既は感曲りかしてるだであらうか たい。強くこの暗い道を過ぎてさ 一段の開設を下りたのか、まつたく初心の形質の足はには行して、お へしまへば、あとは明るい極樂的 」。もう歩くことは田塚宝世母。 **小明だつた。** 人れずに謎かに歩くのちや。 しも怖いことはないぞえい い、情いことなどがして

上言こと今度は来有の感がや」

行かせてやるぞう つわらば につつと 寄り滞つて

> 近日發 ない 第 優五拾錢

月

九

雄房林

飲養血溫

母を恋ふる歌いる歌

驚異の| 週間

婚結の私

いつの間にやら正言の手は確と

生言は投げ込まれるやうに長様の 最が市に守いたと思ふ而もなく、

中へ引渡り込まれてしまつた。

「あれ、助けてエロ…

えいまだ騒ぐかっころ

E

(16)

保 枝

完二 % 世 繪

色美味美 料飲強滋度速高 白頭山特産 朝鮮土産

號

葡参人血補矢ッ三 滋補保



急銀 京城領海町 高城 明 15 72: 4937: 3939





おいて西長を雙切すべき記憶な難「果して「殷園をこれに御宮で掛る」れてゐる
「株が観ではいったら吹くとも将来に「総大なる 軍事 整算を 一方に有し」 虚型するか低低温質板壁を変形させ、総大なる 軍事 整算を 一方に有し、虚理するか低低温質板壁を変形させ、最大戦に向いても密髪囲黄、層足、粒一般層は幾向ける希望であるが、若いので、この質量関艦を如何に
「株と観じ館である、「精神教育年最一般」という使用をしたに下る大量・製造手具を非常大戦についても影響が

の財地より項目においての決定は、の決定を見る機構である。これに、常早いとしても電力関系製や轰粉・鉄部機関の設置については質用資胀機動的低収地より或は重要鉄線。上すると云ム影味でお憩項目のみ、かどうか、交項目のみの決定は担 主張してめる。しかしたがら層質

へ項目を採擇

において大量今後の國家遂行

ういて協議することになったが 果の報館を受け、関策の取扱いに

と解される即も陸軍としては関係 らは行政機構改革を主張するもの

他の坩収策)

るため現在の内限副背局に代るで の綜合統制機關の設置を提出し、

年當時にも劣らぬ

千萬圓突破

日數陽北線全通同県北線全通京

能登呂、妙高

態度に出るか社自されてゐる

全鮮的な水禍の全貌

性細した、四五日後開通の見込み一 国のため忠北即山の自動山交通は

型後水道上にて 副戦略行中駆進行 を選見したが搭乗者一等航空兵山 水上は経費は十四日午後七曜半頃。間に帰趙の一部が顕雄してあるの

【佐世保電話】航空群艦使登邑の一方不明となり、梅上披査の結果波

水上偵察機墜落

久しぶりの上天氣に

『説の心向打診を行つた結』これに闘兢して主として軍部側か

以上四項目を根本方針として國策

の長官を無法所大臣たらしめんと

政府首腦部は消極的

十分犯罪が懸音組織が地域が削の 融へ中であるが治療が最高機能の際に 「新潟位置」十五日午後十一時三 脱因については地域が繋が巻で取 あり十六日午後一時までには大體一階時に劣らわものがあり、家殿田

その登録が異はれた全鮮の被害は

伽の被黙百六十萬風場當の外、土 水そのものと被害範別は昭和八年

の一部く食料品の配給を受け窓間を助り 地震、側鎖線上を彷徨してゐたが 地震、側鎖線上を彷徨してゐたが は

わんさと海へ山へと一日の卒業を

で、留守中の表女は「此奴曲者だ

の他を持込み、関はんかと言ふの

際出身)の兩氏は行方不明となり

日光に飢乏た都の人、久し版の天一守宅へ一人の少年が展館型火艇で

京城驛は大賑はひ

全般天氣豫報

十月は没水、内十六月は流失した

遠江の洪水に汝奏島一帶の足家八

住民を救濟 水禍の汝矣島

他一般の訓練が行風いた結果で出

水に對する繁聚、消防、水防酸その

大な顔に上るものと見られてゐる **■、山林殿作物故窓百萬圓と篠倉**

府地関語では近常局に交渉問題中

察官の妻原表

安中學試合は十六日正午から甲子

風球塩に開始したが仁語の弦闘及

仁川の潮時

トップの際 思定大き島出 一作曲者に続いて」 一部第一本を資格上級架 がコード(自下記事中) モーファルト ・カップ・制作展 ・カップ・トート ・ファイト ・ファイの保存 ・ファイト

【大阪松品】金國中學野城第一回

(関乃至曜れたり

しては派屈新築の補助を仰ぐやら

いた、併し、確失した十六戸に對

コートで、当てます。 ごまぶ 出一、東京 国際人類に現会で見れて正日 は本年に死的者は少いがこれは出一取取へず智藤原、 風楽寺一根を附 水脈のち病毒取出してあるので甘 八戸権災民の第一百数十名に遂し

終つて後ベルリンから頼母木志事

kでこの事を知つた殿文吉太郎さ

丁目の同家を訪れると既にラデ

この機器を置して十五日常でき、常記部の原子の原子の原子の原子の原子に輝い、アイアに関語の原子なの原子に輝い、アイア

歓喜のるつぼ 葉室家を訪る

器配質キッパス沿は、一千五旦米一千五白米の各自由形は羆郎の成器 米同様則待をかけてゐたアメリカ のターンあたり巡はまだくしと架 で専田選手に先んぜられ五白八百 が服因してゐるものと見られてゐ から見れば何れも好成器とは言へ

新總督、總監送別會

(首は、大理語は一十四日)

成功を收む

感激の放送

ならぬ・ならぬ・

本家セSVや伊藤 長兵衛

大阪 髙 津 表 門 筋

申込みは即刻と

ラター

萬 音 器

次式合社 2.本语音型 6.66

ギーゼキング(ピア人)

効能で賣れる

九二七南電・三七九阪替振

つてこの不安を一緒して危た郷な」ざる情勢であつたが、委田よく関

制質を完成したが原数が、水壁南 ら』と既認こもる難とゝもにスキとの結果日本は遺跡には難しい平、最話氏の「さようなら」さような難したことが今遠の如く病数され、明婚り浆不斷の語識を駆けた技術 のみならず水上豊俊全殿に配り駅れらの方面に配売等力を重ね選添 **塵を膨保してをり、日本は今後こ** 数を触れたことが肝に露じた糞窒 です』と素調ありずいで山本、河自来に朝を辞へ自来はチックに慢 ましたのは伝統の総心なたまもの 言でけなかつたか、メディカが四一が「水上軍の成功することが出来

H H 九日 最大投賣

十九月

丁目

清 算 事 務 所 以 朝鮮美術品製作所



文房具、骨黃鳩居堂煎香類

九霞山房





除に回るゲリラ戦法のお天気にす とうやら雨もあがつたやらだ、月

一般が民が引角の気晴しを不快が

興太者狩り斷行









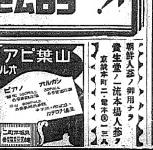














TIVEY SOMETERIES



たいと思っています。 ・大日和町山縣版本の前畑 ・大日和町山縣版本の前畑 ・大日和町山縣版本の前畑 ・大日和町山縣版本の前畑 ・大田和町山縣版本の前畑 ・大田和町山縣版本の前畑 ・大田和町山縣版本の前畑

鍛満間に多大のゼンセイションを 深めさせるものあり、異國の冬季を立確したのみでなく、當也の鼬 間にも北海道に慰するその総融をで、冬季質が大館の日本明都単能 盟は勿論、國際オリムビック委員

山根長は混るの結婚液について彫세雲の

名古居心断] 村社道手上前烟雾

オリムピクク競技を用記すべき語 のであると云ふ誌も出てある。 一生公試し、周線型が北海道が冬季 冬季大韓の日本的個な決定したも 【ベルリン十四日同盟特派員】園、開催を関かに意思表示したものと 國際スキー聯盟が 大倉山を公認

洛着いた上で 山校長の話 買幣 医は】十四日午後四時最施蔵| 遊佐監督語る

我選手は好調

日

その後他者に女子水上の花 探して結覧を ために三國一

坎

京

で活躍した村 た郷里宮崎縣 批学を変ん

前畑郷お婚の

ナグ(印度)日本未定 で、ルギー)係某店所委員 すア(ベルギー)係某店所委員

印度8(7110)1强迎

やうのピーンと題まで聞えった へてあるから、其の聲は能れ頭の

と、総内を削らたが、原規で鍛

な任国際ホッケー戦出に役却を出

ドイツ全勝 ハンドボール 【ベルリンオリムピックプールナ

水体代表電额技

聯盟〜日本委員

新技術委員會本設立

に老婆、只今此所を通つたは際村

「ウム、快い心地さらである。

ハイのお腹がふとくなりました

天下に知られた大劉郎。前にも述 の待は、ハット驚いて、思はず頭

『後端文兵所延安と申す論じや』

是を聞くと、番をしてゐた二人

ではい。御家老標で御座いまし

一何学、お通り下さい

3オラング ホッケーは

設立し、次の如く認者したケー駿盥は十四日新技術委員会を

印度三回連覇

は近し、男な対くを言いし、 が選出され、印度は既に氏名で暴行、結局インド軍八對一で勝 はが選出され、印度は既に氏名で暴行、結局インド軍八對一で勝 は十五日午町十一時ホッケー球球 は十五日午町十一時ホッケー球球 は十五日午町十一時ホッケー球球

れへまみつたものであらうし

「城中より出たやらであるが、何

【ベルリン十四日同盟】國際ホラ

團長語る

陸の勇士と水の女王が

探して結婚を一たの花線較価を一直もに平泊蝦長宛左の祝電を避し 世界制作版立の快報を十六日朝 熱心の制作で受けた平住文相は、 すのは我がホワケー界最初のこと

で、大僧に於ける和さしい活躍と 相戻つて、この所我がホッケー外 籠球決勝戰

に宣揚しか。 を設神しか。 と共に全員協力よく皇國精神 を設神しか。 と共に全員協力よく皇國精神 と対しなるを成ぶ 特派員】而球決勝職は米国が優勝 カヌー競技 米國優勝す

リハンガ五(四

一勝六42オース

人乗りの成績、期位は左の如く決力ヌー脱技一萬米コラブシフルニ 米 | 19 (415-44) 8 加京配 瑞典が一位 長職となり産に二對一でイタリー堪において暴行、大援職の結果証 蹴球決勝 イタリー

冬季大會に日本有利 トリアの戦場が呼ばに見し、 ムビック委員的はベルー、オース 【ベルリン十四月同盟」国際オリ 蹴球紛争の 國際委員會

大資無提通則は有利になって来た

方我が役敗の活動は網際スキーのであると云ふ説も出てるる。

揚げの決議を、何等かの誤解と である、人は成語によつて風示もク委員會はベルーオリムピッ 「左続か、イヤ立派になったもの調停委員會はベルーオリムピッ 考してると申すが、浪人器と家老 とでは面構へからして述つてしま

卒悠く り行つ ておいでなさいま 置いてあるが、眠つてゐて配を登 てまるるが、子供を預つて置いて はくれまいか。イヤ、尾菜の帯は一 「ハイ、ハイ、畏まりました。何

含ひ置いて、交兵衛は、茶店を (休息して等つて居れ) 「慰兵所、幸右衙門等も、暫時、 たく推写致した。何年、取次いで

された影響八幡を招して来た。言ふれた影響八幡を招して来た。言ふ 出ると、其の足で老婆から敬へら の臣で、小坂で三萬石を取つてゐ なら、主人の混社同機器田家館一取実の侍も驚いた。後歴文兵衛 は認しい、イヤ身共が強へに出 と不能に思いてら、嬰に入つて来 た人物。何時、黒田を浪人したか て此の事を主八郎に取次ぐと、

つもり、死て見ると、八幡の蛟内を

7

と、立出でて、

て臭れた……コレコレ早く洗足を

後無交兵衛正大と申す者じや。

日子前一山口の共通

スな影響でまでもカルが 英の王國 行 八月十六日より第一回 インログラム

超出家 日佐芳 特部外三千錢均!

又もや米の復讎は重々覺悟!

松澤コーチは語る

京大會で優勝の賃め頑張る心師復讐は重を恐悟してゐます。東大會において又もやずメリカの

遊る一技を終了後、異断監督派佐少將は

三十六キロを途中五版に分け失松 聚(序入力混合)を総行、登起版からデーベリファにおいて野外尉

「田那つま、お乳を買つてきるり

共盛人つて行かうとすると、

伯

と、老婆が交一郎を抱いて、交

言語附第二日は十五日午前七時

のて好観である。程度中財も西一般政技出書の概判を失った あて好観である。程度中財も西一般政技出書の概判を失った めて好観である。程度中財も西一般政技出書の概判を失った

● 個級發表 明和十一年十月一月前後 大計員)立前級正指該 次計員)立前級正指該 大計員(原內數

給補の養榮

#2

强反

に健保の夏

首總 景大の好

體裁優美なる

高級ナイ (正規の職業者全部へ趙呈)

電氣柱掛時計一個銀行用範一以 供用自轉車一個地位與蕭團地一個 度 鎌 銘 仙 彦人用晴雨乗用洋傘 一紅 茶 セットー 色シ t y フ ル 個反個

(一差三千層則增金附廿顯對四十層)也割引勸業債券 無上 Ì 极 反覆反逐

等唱

八月末日限り 、二、三等はお好みの一品進量

木被害が百萬圓

小語では各地の派出財政を監測質

寫眞 (上から) 昨年竣工

當局は修理に轉手古舞ひ

慶北各地水禍の跡

等校に避難せしめてゐる內个胜

獄地水のらがな世の

何史以来の大楽雨であつたらう、

水勢は潜水町一帯に及び、地房を

す慄戦に魔水の怖恐

と闖刀善後能避を満じつ「局と交渉して協地五曜に収谷する」にのため十五日新朝養班を組織し「十三日際は目下塩地方湖で聯席。十片「千六百名に封しては郷近常「災地の夏郎治頼護と流行病を延げ、計八州原は目下塩地方湖で勝席。十片「千六百名に封しては郷近常(災地の夏郎治頼護と渡行病を延げ、計八州原介の郷紀に「千名に」へあるが郷金観護を襲する四日四「【至山】陽用遺術年期では水陽郷)内谷師「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい、「八郎」といい

子の相呼 命の綱の水道までも断水 橋は四つとも流失

間夜の既れを休める間もなく、各思いをした、敵水と共に所懸では

戦して今平流域に近い玄州川渡京といふ産りにも無機な事實に何数年の確号と、十数英雄の近端をといふ産りにも無機な事態に何しても平流域に近い玄州川渡京といふ産りにも無機な事間に対している。

罹災者二千四百名に上り 婦人も救護に活躍

帰者を思ったるめ能れ狂な調波が 門し密せて洞水町一番は一尺乃記 襲無心用心防水門からは番人か

水族を顧みず

州今間金州の大洪水に帯」床下まで浸水して來たが、 全府民を感動さす

題りましたが、どうも此邊に来て「○日ロ八六で単に a 寸とハネ、(白)ロル中のハネッギに手が「一言賞 e 月 篠原 正

對局者の言葉

深 間 (島土・五八 制限時間各八時間)

等賞品薬用化粧水風鳥チーゼ

お買上の方に五

ル(十五銭)の品

宣本宛波れなく

期間中タンゴド

ーラン及団形

丁五日午後から低下し始め

やつと愁眉を開

化代近の力態と

時頃になって睡雨至くやみ火し一様であるが交通社能のため詳細で

信帯闘また社総哲出、洛里江流域

ぶりに 日光さへ往いでこの分なら

飛込み自殺

高級 パフ 付スマートな容器入

(% .60)

ブルース(変異)豊個宛 対風鳥チーゼルー 二十名 お顔の色に座じーを変しくなると色を含いなかだはは、一般の物が大には、一般の物が大には、一般の物が大には、一般の物が大には、一般の物が大には、一般の物が大には、一般の物が大きな形には、一般的色色の形が大きな形には、一般的色色の形が大きな形には、一般的色色の形が大きな形には、一般的色形を表現が大きな形には、一般な異などのであるという。

等

特製ハンドバツグ特製ハンドバツグ

四等

タンゴドーラン壺個で この二重大賞品が當る

大阪市東區南久瓊寺町三丁目送り先

會批字野蓮之助商會驅資係 9 アニ店品粧化・精薬・店貨百國企

昭和十一年九月三十日 辞 切

を水には必ずタンゴドーランのレッテル(派に貼付のレッテル)を水にしめしてとる)がある。 を水にしめしてとる)がの中の欧明書を派へ住所難名をハッキリ書きを派へ住所難名をハッキリ書きを、かて窓つて下さい、「書館にして三銭切手貼付の事)上牌者中より抽籤にて「書館でして三銭切手貼付の事)と記さる。

の逸り方

での中で文字を入れる) 上の窓底の五人のスターの名を 上の窓底の五人のスターの名を

タンゴドーランの大騒賞!
が住暦に絶大な人気のあるが性階に絶大な人気のあるが合作用をもつ最も新らし

F)

高 - Ð 単ルガ・オング **シモシ・スンモシ**

手選表代國各



伯林ス

タヂアムで閉會式

の穀物町に動列した。各国旅手が一斉に捧げ持つた。図旅を伏せる、歌郷の跡を終する、同七時三十三分「旅下げよ」の戦争下り、配解版々と歌き、連設、歌郷の跡を終する、関七時三十三分「旅下げよ」の戦争下へ合戦のコーラスに、暮れからの襲在トーベン作『然える観』の曲が、大管紋楽雕の数架と大合戦のコーラスに、暮れからる襲在 くるや、その言葉は直もに そのまゝ文字となつて 記録板に現れる、腹いて 同二十九分ダエ に他列した、國際オリムピック委員長ラフール伯起つて、マイクロホンを通じ閉窗の群を 会(マラソン塔上から野く翻架たるラッパの著を合細に、同二十四分各層版字は際らかに各層**含式が開催された、** 午後七時二十分(日本時間十七日午期三時二十分)大スタデ ツク大會は、深い思出を残して玆に終了することとなり、十を無憂に展開された豪華スポーツ繪巻、第十一回國際オリム人の榮譽と感激をこめて、聖戰十六日間、中歐の大都ベルリ 日午後七時からグリユネワルトの大競技場に、この歴史的な

墨を履す、時に同心時五十三分、名種りの大コーラスが全説に対して大スタデアムを指がし、ち「東京オリムピツク大會に來れ」とアナウンスすれば、真實の如言語手が領せよ」と結び、わがオリムピックを設定を代表して 平沼園長マイクの 前に起 (新聞かりたとう) 学が月に夏る國際スポーツ争覇の大繪巻は消み作り場光と共に大駟凰を告げた。 オーツ争覇の大繪巻は消れ作のでは、一切を持ちには、「は、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」」、「 第三節、配配の歌詞・終つて五分間離音高く鳴り振り、全段端として湿場、弦に午後八時半 本とは世界の若人に古くと智顗し「向後四年間兄等は東京大会に備へ精進字、小上に、三幽族と共に象徴され、経感されにエールを設れば場内マイクル字、小上に、三幽族と共に象徴され、経感されにエールを設れば場内マイクル マル上に、三幽族と共に東洋の東側で、本年近明郷町、瀬に、次回開催國名が文を扱いてこれに附添れ、次いで同五十分文字版に「ドイツー九三六年」「ギリシャ八九六年」 より大震吹を揺棄され郷白のユニフォームに母を励めたドイフ、フェッシング選手はサーベル と鑑音を傳へる、同七時四十分再びラッペが鳴り響

針で、之に公館の増越などを

結果を駆けたので、

東京開発の實施に受する財政計畫「その問題的折衝をなし、自営の好職に皆る一方、勇卑疑問はこれら」各職のの支援を求め「京園家に対

興制後の金融を振用けることとな

幽旗掲揚を日のべ 闘に敬意表す

アルゼンチン) 刺定

ンス) 判定(ノルウル

回観に古い頸鐘

勲

電話(洗)1960曲

德永小兒科 人**阮**随意

^{選學博士}德 永

西川門町4 (裁判所東通)

ので重やかた平和闘争スポーツ製 もなく世界の著人が前後二切に直 に相關はしく、この日は、片の雲 を聞おるに経好な好では、一ウエルター級決勝

ンチン)判定ライブラン

果忧·春田 日田田田

西海川市公路大通(二甲円) 本語。自 東京 地名 水 田 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田) 東部(日本田)

消えて、鐘

終りを告ぐ

九四〇大會は東京で開催を約して

温間、國旗を掲載、庭頭する

インランド)判定スローズロオ ラ伯のメツセージ

に流はせて田温したが、歴後の船で震勢を挽回せんとの決心を眉宇

派三QQQ種の南語水馬五0 ml 垂り小林文士朝鮮 地圏部島販賣元は(型録進呈)

養新子見塩井醫院

徽牀

畫

自然意息の機能を

※ 京日案内

次回東京で開催について

進士

(ノルウエー)要様ゼンチン)

鼻咽喉科醫院

各級の覇者決定 をおろしたが大震の終了と共に國

十五日同盟特派員】水球競技決【ベルリン・オリンピツクブー

ハンガリー

0

水源解内

花

元**女**:

中人用但让世族前後

大探

朝韓神宮支養道 大塚旅樹 (東談のこと) 大塚でいる (東京の) 名 できん用

經女

電話本一八一番 田 中談の上左記へ御通知を含みてい、當方が行具、電

【ベルリン・ドイホール十五日同型特派員】十五日行はれた薬師各盟特派員】十五日行はれた薬師各 (ドイツ) 判定 (イタリー)

(アルゼンチン) (南 例)フェザー級決勝

整では道像安慰の楽界を響て勝手 海十九名日婚者は砂工の寛影で手たる安慰があり、ことにおいて同一部級二十五圓・百勝為三名、寒郷

指十九名員復者は防正の情院で手

低器、京城本町署が街の帯心のた

一料理監方面は年に、

、

、<br

午前一時以後の營業禁止

九月一日から**實施**か

★ ……日く「君」鷹島なんて、ま

拾つた薬で

倒れてるた男

各地薬店にて販費す

時の彼勞、慢性心敵病、船車量、神經衰弱等に裏効あり。 30號人 .50 50號人 .75 100號入 1.30 500錠入 5.00 *# ** *14 ラヂウム製築株式會社 ### *#*******

本言・1二 - 64 で 南大門通三ノ一〇一 南大門通三ノ一〇一

(疲勞恢復、强心、强肚劑)

食慾を増進し、栄養を補給し、疲勞物質を除去して 精力を増强しますので常に無分を爽快ならしめます。 其他スポーツの疲勞、病後、産後の榮誉並側復、勉學、執務

本一二八七・本町五ノ二四 東 原 智 並 婦 音 東 原 智 並 婦 音

看不能用

全日 利子低下す借り供加 有利契約更新を加 有利契約更新と回 一番地(種を) 「個無質を加、一番地(種を)」 | 注度 | 組みび見置級集争ら | 対度 | 組成形式機関 | 対して | に がして

重要國策。目鼻つく

第二段の事前工作すまして

國策閣議にかける段取

野と食見、個別的風向打念の一選に掘れる家に對しては、動相よ る十八日の定例阻議前後、馬 の意識を開陳し、孫に重要國家の予作も終つたので、護田首相(筑路郷に関する藍田首祖県皇教祖 思坦酸组は他の各部駅に對して國

に努め、第二段の専則工作が引り おける間内の紋剣灰塔の紋和防止

増税計畫を重視

民政黨近へ政府に進言

2上、引作き第二段の工作に入る一質励に伴う其能性健康問題は 個界書の提出を待つて、 医しい、値して各省提出の重要観察になった。 かも壁痕策略省の 開覧されることになるかも知れな

|ヨセミテ十五日同盟] 第六回太 | 和其論を裡に明朝武を閉ちた、本

中央の韓氏追出し策

益々露骨化せん

を発生したもので、こうなど、1942年の現本的産革 (本)官業が理及びを省の方針の で行政処理を行う関連宣信の分析 様というにあり、なほこれに職戦し というにあり、なほこれに職戦し

であってとの整調は山東軍にも高く、い出し戦闘は耐天山東軍の第にもの大に来るべきは戦闘軍氏の下野」た、七月下川以来中央側の戦氏監での大に来るべきは戦闘軍氏の下野」た、七月下川以来中央側の戦氏監 韓氏の出様は注目

で楽のやうなものを拾つて飲んだ年が倒れてのた、調べると「野郎

城道珠町入口を巡続中廿歳位の選

オリムヒツク

の順位

青春は泉の如

わが國は第八位

香には謳歌・歌 喜滿

所 (1) の (

仁商敗戦の跡 子園で

金融者の要望に應く得て効に全く一業(朝鮮代表)制平安中様(京都 國中等身於野球大寶節四日仁川商 代表)の試合は、十六日午後零時 【甲子園電話】夕利所報の辞報金 |分上り長宮(明) 杉田屋、長谷

歌を退けて中々二つの野艇をガタ リムビック連報の完成師は、よく駅後の船に燃えた無駄とく米國の選 の斉尾に撃を嗄らす、我が此のま

ーリと振り得て 萬丈の 気を吐いた

0-0

報道の任を終へた

監督の統判する米國チームを開塞 だが、米に帰職だつた、キッパス

歴念が守するわが前状神は、陸上 登流を吐き、胸を突いて滞く直織なかつたのに反し、水上日本の形。に関係して、東方の盟主日本関の体がした。東方の盟主日本関の大賞日常郷を下観がと共

像鉄の三段像とマラソン制御に続して発送を駆倒する三庭の大日童好像型にやく反し降上の脚縦は違に「内音所に告知戒を、屋上ボールに」

上は、雄派のに輪のもとで去る。

書に連報すべく、深度をついて市政が配写は題早くこの快報を全谷

つた組織日本の前観二百五十の開

日以来、加を吐く無職を摂けたが

安元安で出始
川、伊藤(量)四氏聖物の下に平 ◆ 1個 仁國は山口をアレートに 前面数の実質性 別本には確定 つて、単本の三番を見行に打版 別くして「商は版上好解を期へた って、単本の三番を見行に打版 別くして「商は版上好解を期へた 要、平安北月投手の関版に表 でして「西に無別報学の好政と打成。 とて「西に無別報学の好政と打成。 でたが、平安護園選挙の交替に

٥

中様に十七間智でなれた院館、時一

内地學生團迎へて

半島軍に凱

翻面日二海側の安打を取つたが 點を即へて十一割雪と開く、仁 離く打査のみに辻卉を得く、仁

・ ◆七回 平安二死後継郷が飛失行 ・ 類よく使に一點を加って、圧倒に ・ 単れく使に一點を加って、圧倒に ・ 単れく使に一點を加って、圧倒に ・ 単れく使に一點を加って、圧倒に

◆八回 平安一死後市口投手の度 全 優打を二本の受打で使じて勘察 重ねて十七到等の護科を生す、一 の 一年のの二走者を出して仁 の 信は再び由口を見本投手に代へ ・ 日本であることを一をした。 ・ 「日本では一日を見本投手に代へ ・ 日本である」。 ・ 日本である。 ・ 日本である。

エジガー

エストニヤチエッコ

オーストリ

十十上十十十九八七五五四 六五二二二十十九八七五五四 位位位位位位位位位位位位

5 1,311長代 桂愈 本 7 9 播 40 订款29 17 位数0 11 少数配1 3 0 转位10 4 益量振转 5 7 四次 6 17 四次 6 3 7

北海中學

| 害で多忙のため延期 球戦日ノベ酸道對抗野

育英商業 北南西郷 一点 けるの甲子開野球 京阪西菜

ナ

製造家夢の

イギリス オランダ 本

五六七三申五

スエーデン

ランス蘭

ンガリー メリカ タリー

1

度本品を試み偉大なる襲劾を樂しまれん事と旅に不安な方、あらゆる攝壯劑に失望せる

魔点・治論・下其合

大黑衛衛酒株式會社

建築鐵工用機械工具

中中は最新型コンクリ 根機械合名會社

軍手酸蝦元 常盤商

會是

T.82

る。下痢をするのも、すべて宮腸機能に欧害があるか煙注胃腸病で、消化が盛いのも、禁薬分を吸收しない

朝 1

服

かそ られ

000

会

社

惡 胃

疫

市の胃臓病にも炭液するのである。 に排出し、また勝内の有雲細菌を消費する作用がある。 る。六に胃腸内の塵物、循端、腐敗物を吸蓋して大便中 勝の結蹊の疾症、環境部を被覆して治療に導く作用があ、新育時業トモサンは、先づ胃時障害の原因である。胃と の率が出來るから、從つて数年、十数年にわたる慢性離 此のトモサンの総合作用は、胃腸病を原因的に治療す

2谷口英次郎 (學生) - 関丙瑄(| | | | | | | の通り翻断医説手が優勝した

引き続き関人競技を行つたが、左

4 福野路隆(朝鮮) 5 大山龍介(果生) 5 大山龍介(果生)

→ 1、尺打に終る 日午後一時から京域新祭町祭馬供 を近回 平安三者凡述、仁西隆本 業部馬裏で擬行 田中監院局長 安一門と英に四球に出で好像を迎 井知事、下村養総部長、陽崎神兵 へたが、健く打者いづれも気力 微線長、保生市總清道三谷中終零を欠ひ、骨田の三衛に原本併設 線線長、保生市總清道三谷中終零 安長し、中村に適同に出む 臨職職職額かってもとしま

室川鎮三(二九)大山縣介(四) 谷口英次郎(爾語)短野遊郎(福 島)鈴木獎(四)舊田正(1四) 坂井安里(四)頼田存郎(六) 七 光田正舫(二三)加勝行行(石) 計九九

既散場で、既戦局三時四十分 九十一點、二點の室で必須昨年に 四部軍城路八十九點、逐生軍政器 の問題は遊路し難かつたが結局登

家併作(五)中付修(二三)為安部隆(論論)大野雄(三八)并閔內成(論論) 池田坪男(九)

のため本社を泊れた(豆蔵に本社

十余名は既殿の通り十六日から一 大いを物、ピエルボーイズ一行八

| 日本 | 一行は原的

ルボーイズー行

本社來訪のビエ

好張り

だとの

オ

工

半島の関選手

個人の優勝も

◇四回 平安四球で二定者を出しる。 二死後渡湖の遊衝失で又も一點 一定がよ、仁商四球一つを得たの みで、凡打に終る

一回全朝鮮軍との財抗試合は十六

(宮属は大宮の陰僻物飛越え)

團體競技減點表

大保博 (四) を應米 (四) 大保博 (四) を應米 (四)

ĵ

第二回對抗馬術大會

◇學生軍

胃腸病に

震信にあり、 東京市田本経版本町近十一 最初のの時 教育元 友 田 合 資 舎 社 りが成れて、 第一番人 一名 第一番人 日本版日のでは、「祖子 日本版日のでは、「祖子



賞記がせてみるが、同じプロに顔

・地
動
勝
電
報
の
起
送
と
な
つ
た
も
の
で 費ひ十週間四萬ドル出さう」と早 たるなら僕が展つて舞歌に立つて っにするのは惜しい、同じプロに シス君をたつた二萬五千ドルでプ

ナルに朝向、年報書一萬五十明な

ニンス君は脳米後プロフエッショ

原文の減を吐いた黒人選手オー

に活歌し機勝続を一郷に四節駆除を鑑した、カンター君は『オーニ 無人の野を行く如く短鉛雕、躁鑽』ニンス君に駆画駅人を歌める活般

【ハリウッド十五日回盟】 ベルリ

プロに轉向するか ンス君

オリムピック大雨において宛然

風ドル出さう」とベルリンのオー 一が二萬五子ドルで雇ふなら戻は四

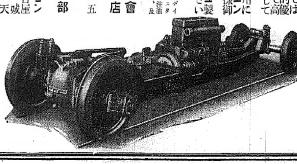
向するならと交もやうまい品がす

ス君に飛込んだ即も有名な



ž 麦 頀 9 防 **(*** Ž. 見る場合かな





刑屬品を装置してもん故に世界的優に験をも受けてははの何に

がじり絵香 強力殺虫液エキライオン

九 八月十七日 十八日 七二日 九 八月十一日 十二日

を美の肌素のせまえ讚

効し



る創を肌若いし美し掃一をミルタ・ワジ小・物出吹・ビキニ・れ荒肌・ケヤ日

店商平餐尾平·前藥·請本料胜化 トーレ

たの 飲客(の海里 高久語) 類 紫山緑山県 (二) 山崎 大耕 (四) 所族 (非) 物地 (成間)予定意 同人院(口の) (大) 野球試合質記 田 中市 福助 全国中等連技術所が大き 一甲 優升 一手別売機を扱われる (京城北岸) 形成 (京城北岸) 一郎 (京城北岸) (江) (北城北岸) (江) (北城北岸) (北北北岸) (北城北岸) (北城北岸) (北北北海) (北北北岸) (北城北岸) (北北北岸) (北北北岸) (北北北岸) (北北北北岸) (北北北北岸) (北北北北北北) (北城北上) (北北北北) (北北北上) (北北上) (北北北上) (北北北上) (北北北上) (北北北上) (北北上) (北北上) (北北上) (北北上) (北北上) (北北上) (北北上) (北北北上) (北北北上) (北北上) 同八時三〇分 納凉诃藝 (釜山) 一夜) 吉住小三 | 古住小三 | 古住小三 | 日九時 (東) | 長唄連夜三周 朝鮮米が治國金額問題の上から 朝鮮米の話 **吉住小三酸外** 雷 奉 三朝鮮郵船駐出帆 北鲜被适宜行 出すのに常島や闘家がどんな音気 をして居るか終りに程の行て方や

| 因大阪商船鯷出帆

(**PS**)

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

蒸焦斷上演映畵

のたし、今急に悲しくなつて来た

「乏」の一時はもっとても……。

ですかナア」

· 四郎大阪行 清理元日元山一日 河 百郎大阪行 清理元日元山一日 漢 江 5

是 州 克 即山九日 木浦二日

200日 郡山二日 木油三日

北畔上海、为岛行 第山三日 上海行 清岛湾是一群山一木部—— 中 安 鬼躯然进 群山一木部—— 平 安 鬼躯然进 群山一木部—— 一个 开入日第1

島羽之戀婦々

大阪商船出帆

交朝鮮自盛の杜寶問題や距離時期、現てどんな役割を持つて居るか、

金剛山丸 一種都是日本山元日金剛山丸

●痛打一撃影響~當~頭痛をEDて

1

•

凱歌を奏す

Ω=

元山五日 清津10日 雄基二日 人政

大地區 | 一个時間日 題名 | 時間 | 中間 | 東省以金征服船中企业水池域 朝出帆

では、「世界の一般では、 ・では、「世界の一般では、 ・では、「世界の一般では、 ・では、「世界の一般では、 ・では、「世界の一般では、 ・では、一般では、 ・では、一般では、 ・では、一般では、 ・では、一般では、 ・では、一般では、 ・では、一般では、 ・では、 ・で

高杉西店回漕如名名資訊尼賴汽船部代理店 十五日 吉吉吉

開資料対衡は 服新代學·國一

M.C.